

# 元気な街・みとプログラム

## 千波学区版

1 地域の声を実現します

2 「市民が主役」を貫きます

3 未来を考えます



### 地域の声を市政へ

「道路は整備されたけれど、渋滞が改善されない」という千波地区の方の声をお聞きします。例えばジョイフル山新前の交差点（梅香下千波線）は改良されましたが、夕方の通勤時には千波大橋から御茶園へ右折をするレーンが混雑してしまい、千波小方面への直進ができない光景が毎日のように繰り返されています。これは右折用の矢印信号さえあれば改善されるものと考えます。また、安心して子どもたちが通学したり犯罪を防ぐための街灯を設置してほしいという多くのご意見もいただいています。玉造順一は身近な生活環境を向上させるため、千波学区の皆さんの声を市政へと届け、その途中経過や結果などをわかりやすくお伝えするパイプ役をめざします。

### みどり豊かな街づくりを

笠原水源周辺の逆川緑地は、子供連れの家族の遊び場として、あるいは愛犬との散歩コースとして私たち住民の憩いの場として定着しています。住宅地から歩いて行けるみどり豊かで水辺に親しむことのできるこの緑地は、現在5億200万円の予算を使つてさらに整備が進んでいます。さかのぼれば、水戸光圀が水源地保護のために水戸藩御用林として指定し、大切にしてきた歴史ある自然。私たちの世代で失つてしまふことのないように地域の都市緑地を保全していきます。



- 年をとって買い物に行くのにも大変。車が運転できないと本当にひと苦労する。
- 福祉施設に入所していると洋服や日常品など職員の人に買い物を頼むため、自分で品物を選んで買い物ができない。
- 長引く不況で店の売上が落ちている。商業の振興を図ってほしい。

## 【新しい発想で元気な水戸を】

皆さんの声を結びつけて、街づくりや福祉の充実を図っていくのが政治の役割だと玉造順一は考えます。例えば、バスなど公共交通の充実やお年寄りへのタクシー初乗り無料券配布が実現したらどうでしょうか。福祉施設で商店街の皆さんが出張販売できたらどうでしょうか。玉造順一は、市民が身近な地域のなかで安心して暮らしていくことができる街づくりを最優先に取り組みます。

